

## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)



2023年5月10日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東  
 コード番号 2883 URL https://www.dai-rei.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 史好  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月16日 配当支払開始予定日 2023年6月19日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月19日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	27,239	18.6	1,525	45.9	1,537	44.0	1,023	40.4
2022年3月期	22,964	2.0	1,045	9.5	1,067	5.9	729	6.6

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	173.26	—	11.4	12.6	5.6
2022年3月期	123.43	—	8.6	9.5	4.6

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	12,826	9,310	72.6	1,575.42
2022年3月期	11,523	8,670	75.2	1,467.12

(参考) 自己資本 2023年3月期 9,310百万円 2022年3月期 8,670百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	322	△316	△93	2,657
2022年3月期	△1,235	△6	△332	2,743

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	—	—	65.00	65.00	384	52.7	4.5
2024年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00	325	31.7	3.6

## 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,219	16.1	807	6.4	807	1.0	553	2.6	93.68
通期	30,300	11.2	1,600	4.9	1,600	4.1	1,097	7.1	185.63

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年3月期	6,008,300 株	2022年3月期	6,008,300 株
2023年3月期	98,627 株	2022年3月期	98,627 株
2023年3月期	5,909,673 株	2022年3月期	5,909,673 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限や入国制限の緩和により持ち直しの動きがみられるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原料・エネルギー価格の高騰を背景に、世界的金融引き締め下における為替市場の急激な円安進行など、インフレ拡大や景気後退に対する懸念が広がっており、先行き不透明な状況が続いております。

国内食品業界におきましては、資源価格高騰に端を発した、原料価格やエネルギー価格が異次元の上昇をしたことにより、価格改定が繰り返し実施される状況で、物価上昇による消費マインドの冷え込みが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社は、度重なる原料価格値上げに対応するため販売価格改定を推進し、仕入コスト削減のための直接貿易で調達したえび商品を販売するなど、積極的に営業活動を進めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、「ダイスカットシリーズ」など当社独自商品の販売強化により売上高10,234,634千円（前年同期比7.7%増）、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の販売強化により売上高2,414,650千円（前年同期比12.4%増）、その他事業におきましては、直接貿易により調達したえび商品の拡販などにより売上高14,590,377千円（前年同期比29.0%増）となりました。これにより当期の売上高は27,239,662千円（前年同期比18.6%増）となりました。

損益面につきましては、商品量増加により保管料が増加しましたが、売上の増収と直接貿易など仕入コスト削減により粗利金額が増加したことにより、営業利益は1,525,232千円（前年同期比45.9%増）、経常利益は1,537,291千円（前年同期比44.0%増）、当期純利益は1,023,938千円（前年同期比40.4%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産の部)

当事業年度末における総資産は、12,826,813千円となり、前事業年度末と比較して1,303,571千円増加となりました。これは主に現金及び預金が86,137千円減少した一方で、売掛金が796,363千円、商品が307,726千円増加したことによるものです。

#### (負債の部)

当事業年度末における負債合計は、3,516,569千円となり、前事業年度末と比較して663,515千円増加となりました。これは主に短期借入金が300,000千円、未払法人税等が194,922千円増加したことによるものです。

#### (純資産の部)

当事業年度末における純資産合計は、9,310,244千円となり、前事業年度末と比較して640,055千円増加となりました。これは主に配当金の支払を384,128千円、当期純利益を1,023,938千円計上したことにより利益剰余金が639,809千円増加したことによるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：千円)

	2022年3月期	2023年3月期	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,235,674	322,668	1,558,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,349	△316,749	△310,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332,883	△93,058	239,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,826	1,001	△6,824
現金及び現金同等物の増減額	△1,567,081	△86,137	1,480,943
現金及び現金同等物の期末残高	2,743,246	2,657,108	△86,137

営業活動によるキャッシュ・フローは、322,668千円の収入（前期は1,235,674千円の支出）となりました。売上債権の増加が801,421千円、棚卸資産の増加が305,568千円あった一方で、税引前当期純利益が1,537,291千円ありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、316,749千円の支出（前期は6,349千円の支出）となりました。貸付金の支出が270,938千円、有形固定資産の取得による支出が44,759千円ありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、93,058千円の支出（前期は332,883千円の支出）となりました。短期借入金の純増額300,000千円あった一方で、配当金の支払が384,128千円ありました。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ86,137千円減少し2,657,108千円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	62.2	72.9	76.1	75.2	72.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	87.7	96.4	105.6	97.0	87.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	1.0	14.6	4.1	△2.7	106.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	210.1

#### (4) 今後の見通し

ロシア・ウクライナ情勢の影響により景気の先行きが不透明な中で、当社としましては、コロナ禍での行動制限や入国制限の緩和により売上回復傾向にあります。次期の業績予想につきましては、コロナ禍での社会経済活動の更なる回復と度重なる原料価格値上げに対応するための販売価格改定が順調に推移することを前提として作成しております。今後、この前提条件が大きく変化して業績予想に多大な影響を及ぼすことが予想された場合には、速やかに業績予想の修正を発表いたします。

##### a. 売上高

###### <骨なし魚事業>

次期につきましては、これまで主力魚種でありました「秋さけ」だけでなく、すべての魚種で原料不漁が見込まれるものの、「調味シリーズ」や「ダイスカットシリーズ」など当社独自商品の販売強化と、原料価格値上げに伴う販売価格の改定を推進してまいります。これにより売上高は11,089,800千円（前期比8.4%増）を予定しております。

###### <ミート事業>

次期につきましては、主力商品である「楽らく匠味シリーズ」で、大手取引先のPB商品を開発するなど販売強化を図ってまいります。これにより売上高は2,727,000千円（前期比12.9%増）を予定しております。

###### <その他事業>

次期につきましては、前期より本格的に取り組んでまいりました、直接貿易によるえび製品の販売につきまして、大手ユーザーとの取引拡大など更なる拡販を図ってまいります。これにより売上高は16,483,200千円（前期比13.0%増）を予定しております。

##### b. 売上原価・販売費及び一般管理費

リベートの増加により粗利率が低下するものの、売上増に伴う粗利益の増加を見込んでおり、引き続き仕入のコスト削減にも取り組んでまいります。また販売費及び一般管理費では、値上げや売上増加に伴う運賃や保管料の増加を見込んでおります。

以上により、第2四半期累計期間の業績予想は、売上高15,219,634千円（前期比16.1%増）、営業利益807,088千円（前期比6.4%増）、経常利益807,058千円（前期比1.0%増）、四半期純利益は553,644千円（前期比2.6%増）となる見込みであります。また、通期の業績予想は、売上高30,300,000千円（前期比11.2%増）、営業利益1,600,000千円（前期比4.9%増）、経常利益1,600,000千円（前期比4.1%増）、当期純利益1,097,000千円（前期比7.1%増）となる見込みです。

なお、当社の商品購買につきましては概ね国内取引となっておりますが、パートナー工場の約60%が海外で生産しており、商品の仕入価格について間接的に為替の影響を受けております。また、当社では直接貿易による仕入コ

スト削減を進めており、この取引に関しましては為替の変動が直接仕入価格に影響を受けます。当社では、1米ドル133円を前提に次期の業績予想を作成しましたが、次期の為替相場が当該前提と異なる状況となった場合、前記の売上高、費用及び利益は、為替相場の変動に応じた影響を受ける見込みであります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当面は日本基準を採用することとしておりますが、海外事業展開の進展状況のほか、国内外の動向も踏まえながら、IFRS適用に関する検討を進めてまいります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,743,246	2,657,108
受取手形	26,573	31,632
売掛金	3,862,335	4,658,698
商品	2,476,335	2,784,061
貯蔵品	10,597	8,439
前渡金	1,453,662	1,450,192
前払費用	10,510	10,345
その他	48,962	29,829
貸倒引当金	△386	—
流動資産合計	10,631,838	11,630,308
固定資産		
有形固定資産		
建物	506,691	506,691
減価償却累計額	△414,138	△421,088
建物(純額)	92,553	85,602
構築物	1,144	1,144
減価償却累計額	△1,139	△1,141
構築物(純額)	4	2
機械及び装置	29,210	29,210
減価償却累計額	△13,827	△17,173
機械及び装置(純額)	15,382	12,036
工具、器具及び備品	46,170	65,551
減価償却累計額	△45,122	△24,704
工具、器具及び備品(純額)	1,047	40,847
土地	512,259	512,259
リース資産	42,644	51,703
減価償却累計額	△20,155	△17,114
リース資産(純額)	22,489	34,589
有形固定資産合計	643,736	685,338

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
無形固定資産		
ソフトウェア	4,583	3,503
リース資産	11,308	8,481
その他	4,828	4,828
無形固定資産合計	20,721	16,813
投資その他の資産		
投資有価証券	23,440	24,228
長期貸付金	—	243,844
繰延税金資産	105,647	128,726
その他	105,167	104,863
貸倒引当金	△7,310	△7,310
投資その他の資産合計	226,945	494,353
固定資産合計	891,404	1,196,504
資産合計	11,523,242	12,826,813



(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,825,122	1,791,242
短期借入金	—	300,000
リース債務	8,618	11,652
未払金	198,752	267,038
未払費用	216,006	232,807
未払法人税等	200,439	395,361
前受収益	833	833
賞与引当金	27,359	49,467
役員賞与引当金	—	26,200
その他	—	43,014
流動負債合計	2,477,132	3,117,617
固定負債		
リース債務	25,179	31,418
退職給付引当金	244,400	263,184
その他	106,341	104,349
固定負債合計	375,921	398,951
負債合計	2,853,054	3,516,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金		
資本準備金	686,951	686,951
資本剰余金合計	686,951	686,951
利益剰余金		
利益準備金	185,083	185,083
その他利益剰余金		
別途積立金	2,100,000	2,100,000
繰越利益剰余金	3,984,185	4,623,994
利益剰余金合計	6,269,268	6,909,077
自己株式	△200,091	△200,091
株主資本合計	8,665,953	9,305,763
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,234	4,481
評価・換算差額等合計	4,234	4,481
純資産合計	8,670,188	9,310,244
負債純資産合計	11,523,242	12,826,813

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	22,964,096	27,239,662
売上原価		
商品期首棚卸高	1,862,939	2,476,335
当期商品仕入高	19,611,799	22,746,910
合計	21,474,738	25,223,246
商品期末棚卸高	2,476,335	2,784,061
売上原価合計	18,998,402	22,439,184
売上総利益	3,965,694	4,800,477
販売費及び一般管理費		
役員報酬	156,300	159,200
給料	746,973	771,303
賞与引当金繰入額	27,359	49,467
役員賞与引当金繰入額	—	26,200
退職給付費用	38,902	46,843
運搬費	623,189	674,652
減価償却費	17,270	21,951
保管費	497,294	567,707
貸倒引当金繰入額	13	△386
その他	812,771	958,306
販売費及び一般管理費合計	2,920,074	3,275,245
営業利益	1,045,619	1,525,232
営業外収益		
受取利息	46	39
受取配当金	323	374
受取賃貸料	8,976	8,976
為替差益	7,826	1,001
その他	6,770	5,023
営業外収益合計	23,942	15,415
営業外費用		
支払利息	—	1,463
賃貸収入原価	1,908	1,885
その他	148	7
営業外費用合計	2,057	3,356
経常利益	1,067,505	1,537,291
税引前当期純利益	1,067,505	1,537,291
法人税、住民税及び事業税	338,896	536,540
法人税等調整額	△824	△23,187
法人税等合計	338,072	513,352
当期純利益	729,432	1,023,938

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	1,909,825	686,951	686,951
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	1,909,825	686,951	686,951

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益剰余金				利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	185,083	2,100,000	3,579,785	5,864,868	△200,091	8,261,553	
当期変動額							
剰余金の配当			△325,032	△325,032		△325,032	
当期純利益			729,432	729,432		729,432	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	404,400	404,400	—	404,400	
当期末残高	185,083	2,100,000	3,984,185	6,269,268	△200,091	8,665,953	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	4,885	4,885	8,266,438
当期変動額			
剰余金の配当			△325,032
当期純利益			729,432
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△650	△650	△650
当期変動額合計	△650	△650	403,749
当期末残高	4,234	4,234	8,670,188

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	1,909,825	686,951	686,951
当期変動額			
剰余金の配当			
当期純利益			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	1,909,825	686,951	686,951

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益剰余金				利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	185,083	2,100,000	3,984,185	6,269,268	△200,091	8,665,953	
当期変動額							
剰余金の配当			△384,128	△384,128		△384,128	
当期純利益			1,023,938	1,023,938		1,023,938	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	639,809	639,809	—	639,809	
当期末残高	185,083	2,100,000	4,623,994	6,909,077	△200,091	9,305,763	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	4,234	4,234	8,670,188
当期変動額			
剰余金の配当			△384,128
当期純利益			1,023,938
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	246	246	246
当期変動額合計	246	246	640,055
当期末残高	4,481	4,481	9,310,244

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	1,067,505	1,537,291
減価償却費	22,002	25,982
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	△386
受取利息及び受取配当金	△369	△414
支払利息	—	1,463
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,695	22,107
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	26,200
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,660	18,784
売上債権の増減額(△は増加)	△128,785	△801,421
棚卸資産の増減額(△は増加)	△611,962	△305,568
前渡金の増減額(△は増加)	△1,453,662	3,469
仕入債務の増減額(△は減少)	213,080	△33,880
その他	△38,700	179,048
小計	△929,914	672,677
利息及び配当金の受取額	369	414
利息の支払額	—	△1,535
法人税等の支払額	△306,130	△348,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,235,674	322,668
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,435	△44,759
有形固定資産の売却による収入	232	41
無形固定資産の取得による支出	△3,800	△713
投資有価証券の取得による支出	△425	△433
貸付けによる支出	—	△270,938
その他	1,078	53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,349	△316,749
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	300,000
リース債務の返済による支出	△7,851	△8,930
配当金の支払額	△325,032	△384,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332,883	△93,058
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,826	1,001
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,567,081	△86,137
現金及び現金同等物の期首残高	4,310,327	2,743,246
現金及び現金同等物の期末残高	2,743,246	2,657,108

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、業務用冷凍食品卸売事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,467.12円	1,575.42円
1株当たり当期純利益金額	123.43円	173.26円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益(千円)	729,432	1,023,938
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	729,432	1,023,938
普通株式の期中平均株式数(株)	5,909,673	5,909,673

(重要な後発事象)

該当事項はありません。